

News Release

ラッセル・インベストメント・グループ

発信日: 2006年10月27日

ラッセルが日本債券マルチ・マネージャー・ファンドの運用会社に ブラックロックを採用

ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社(本社:東京都港区)は、同社が設定・運用管理しているファミリーファンド方式によるマルチ・マネージャー・ファンドの「ラッセル 日本債券マザーファンド」において、2006年10月27日付けで、金利戦略型担当の運用会社としてブラックロック・ジャパン株式会社(以下「ブラックロック」)を採用いたしました。今後とも当該ファンドは、金利戦略型2社、クレジット/セクター戦略型2社、収益源泉拡張型1社の計5社^{※1}体制で運用してまいります。(下表参照)

ブラックロックは、ラッセル・インベストメント・グループの運用会社調査チームが高い評価を与えている運用会社です。当ファンドにおいて引き続き金利戦略型を担当するフィッシャー・フランシス・トリーズ&ワッツ株式会社が、デュレーション(金利感応度)戦略を得意とし、比較的短期的な観点から運用を行うのに対し、ブラックロックはイールドカーブ(利回り曲線)戦略を主な超過収益の源泉とすることから、両社を組み合わせることで、より相互補完性の高い運用会社の構成を実現できると考えています。ラッセルが最適な運用会社構成と考える5社体制を維持しつつ、金利戦略面を強化することにより、従来以上に安定した超過収益の獲得を目指してまいります。

ブラックロックはグローバル債券運用で定評がある運用会社ですが、当ファンドでは日本債券単独の運用を行います。金利戦略の策定・決定は、ブラックロックのグローバル債券チームに属し日本債券部分を担当する日本人ポートフォリオマネージャーの責任のもとに行われます。ラッセルは、同ポートフォリオマネージャーが有するマクロ経済ファンダメンタルズに対する深い洞察力、市場コンセンサスの分析力、長期的な視点でのイールドカーブの変化に対する予測能力、クオンツに関する深い知識とモデルを的確に使用した分析力等を高く評価しています。また、ブラックロックのグローバル債券運用における知識と経験が、日本債券運用においても活かされると考えています。

ラッセル・インベストメント・グループは、継続的な運用会社調査の一環として年間約8,600の運用プロダクト^{※2}をモニターしています。その中から約180のプロダクトが、現在同グループのマルチ・マネージャー・ファンドに採用されています。こうした運用委託先を組み合わせることにより、リスク分散されたポートフォリオを構築します。今回の変更は、ラッセルによる継続的な運用会社調査および資本市場調査の結果に基づくもので、マルチ・マネージャー・ファンドならではの特徴です。これにより従来以上に安定した超過収益の獲得を目指したいと考えております。

<「ラッセル 日本債券マザーファンド」の外部委託運用会社構成>

運用会社	運用スタイル	目標配分比率
フィッシャー・フランシス・トリーズ&ワッツ	金利戦略型	36%
ブラックロック	金利戦略型	36%
住信アセットマネジメント	クレジット/セクター戦略型	12%
T&D アセットマネジメント	クレジット/セクター戦略型	12%
ピムコ ジャパン	収益源泉拡張型	4%

※1 ラッセル・インベストメント・グループ内の関連会社を除く外部運用委託先の数を指しています。

※2 個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数所有しているところもあります。

◎当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料はラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社が一般的な情報の提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料でご紹介するサービスには、投資信託が含まれます。投資信託は、元金が保証されているものではありません。また、投資信託には手数料等の諸費用がかかります。後述の『投資信託にかかる主な留意事項』をお読みください。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料中「ラッセル・インベストメント・グループ」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。
- ラッセルによる事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮ください。

◎投資信託にかかる主な留意事項

- 投資信託は、株式および公社債等値動きのある証券に投資しますので、組入株式や組入公社債等の価格の下落ならびにそれらの発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え外貨建資産を保有する場合、外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、基準価額が下落し損失を被ることがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様が負います。
- リスクは上記に限定されるものではありません。投資信託の取得のお申し込みにあたっては、必ず当該商品の投資信託説明書(目論見書)を販売会社でお受け取りになり、「投資リスクおよび留意点」等、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 投資信託には、「お申込み時」、「ご換金時」、「保有期間中」にご負担いただく手数料等の諸費用が発生します。費用は投資信託によって異なります。詳しくは、当社までお問い合わせください。
- 投資信託は、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 金融商品取引業者以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 196 号

加入協会 日本証券業協会、(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問協会